



あさひ



朝日ヶ丘小学校
令和6年10月3日
学校だより

ピンチをチャンスに！

爽やかな風とともに、やっと秋の気配が感じられる頃となりました。放課後、校庭から陸上大会に向けて練習に励む5・6年生の元気な声が聞こえてきます。早いもので、10日（木）は、前期の終業式です。

新年度スタートから半年が経ちました。成長の度合いはそれぞれ違いますが、朝日っ子たちはどの子も体も学習も生活態度も一回り大きくなったように思います。終業式の日には、担任から子供たち一人一人に「あゆみ」が渡されます。この半年間でできるようになったことや頑張ったことなどの成長の記録です。ご家庭でもよくできたところを大いに褒め、励ましていただき、後期に向けてさらに伸ばしたいところと一緒に確認していただけたらと思います。

話は変わりますが、先日6年生がキャリア教育の一環として、株式会社JPF（自転車関係）の職員と千葉美容専門学校（美容師を育てる学校）の先生をお招きしました。それぞれの職業にかける思いやうれしいこと、大変なこと等の話に、子供たちは、目を輝かせて真剣に聞き入っていました。どの方のお話もとても素敵だったのですが、私が特に感銘を受けたのは、現在JPF広報部に所属する中村さんのお話でした。中村さんは、もともと水泳選手を目指して高校を選んだのですが、残念ながらその高校には行けず、違う高校に通うことになり、たまたま自転車競技と出会い、東京オリンピックに出場するまでになります。そして、今は大好きな自転車のすばらしさを多くの人に知ってもらうためこの仕事をしているとのことでした。「長い人生の中では成功ばかりではなく、失敗や困難を乗り越えて、出会える景色や人とのつながりがあります。」と話す荒井さんの言葉には説得力がありました。

また、今シーズン50-50の偉業を達成した大谷翔平選手は、昨年、肘の手術をしてピッチャーができなくなり、今年はリハビリをしながらバッティングと走力を磨いてきましたが、その成果が前人未到の結果となりました。肘を痛めたピンチをチャンスに変える力に、感動をもらったのは私だけではないと思います。

朝日っ子たちにも、「ピンチをチャンスに変えられる力」を少しでも身に付けられるよう、後期も教育活動全体を通して、全職員で取り組んでまいりたいと思います。引き続き、ご協力よろしくお願ひします。

少しずつですが、日が短くなっています。学校でも声をかけていきますが、子供たちの安全を守るために、ご家庭でも外出先、帰宅時間などの確認をお願いいたします。

校長 齊藤 利恵

10月の生活目標 「自分からあいさつをしよう」

○ あいさつは人間関係づくりの基本です。気持ちのよいあいさつをされると、自然と笑顔になります。ご家庭でも、無理のない範囲で意識付けをお願いします。

※ 学年・学級の実態に合わせて、具体的な目標を設定して取り組みます。